

実績：平成22年10月～平成23年 3月  
見通し：平成23年 4月～平成23年 9月

(平成23年 4月発行)

長岡信用金庫 総合企画部  
電話 0 2 5 8 - 3 6 - 4 3 4 4  
Mail shinkin@nagaoka-shinkin.com  
URL http://www.nagaoka-shinkin.com

業況DIは、4半期連続となる改善基調を継続。

～全ての業種で前回比改善。製造業は8半期ぶりにプラスの値となる。

(全業種) 前回/今回/見通しDIの比較

	前回	(改善・悪化)	今回	(改善・悪化)	見通し
業況	35.5	(17.5)	18.0	( 9.3)	27.3
売上	27.6	(10.9)	16.7	( 3.1)	19.8
仕入価格	16.6	(11.8)	28.4	(7.6)	36.0
販売価格	40.4	(14.4)	26.0	(5.3)	20.7
収益	37.7	(10.3)	27.4	( 8.8)	36.2
在庫	8.9	( 1.6)	7.3	( 5.8)	1.5
受注残高	11.1	(4.1)	7.0	( 7.9)	14.9
資金繰り	23.2	(3.7)	19.5	( 2.1)	21.6
人手	7.5	( 7.1)	0.4	- (0.0)	0.4
設備状況	1.3	( 2.3)	3.6	( 3.0)	6.6

<今回>

業況DIは 18.0と、17.5ポイント改善となった。リーマン・ショック後の過去最低値(平成21年3月期、79.1)以降、4半期連続となる改善基調を維持している。業種別では全ての業種で前回比改善した。製造業は6.0と、8.0ポイント改善し平成19年3月期以来8半期ぶりにプラスの値となった。

<見通し>

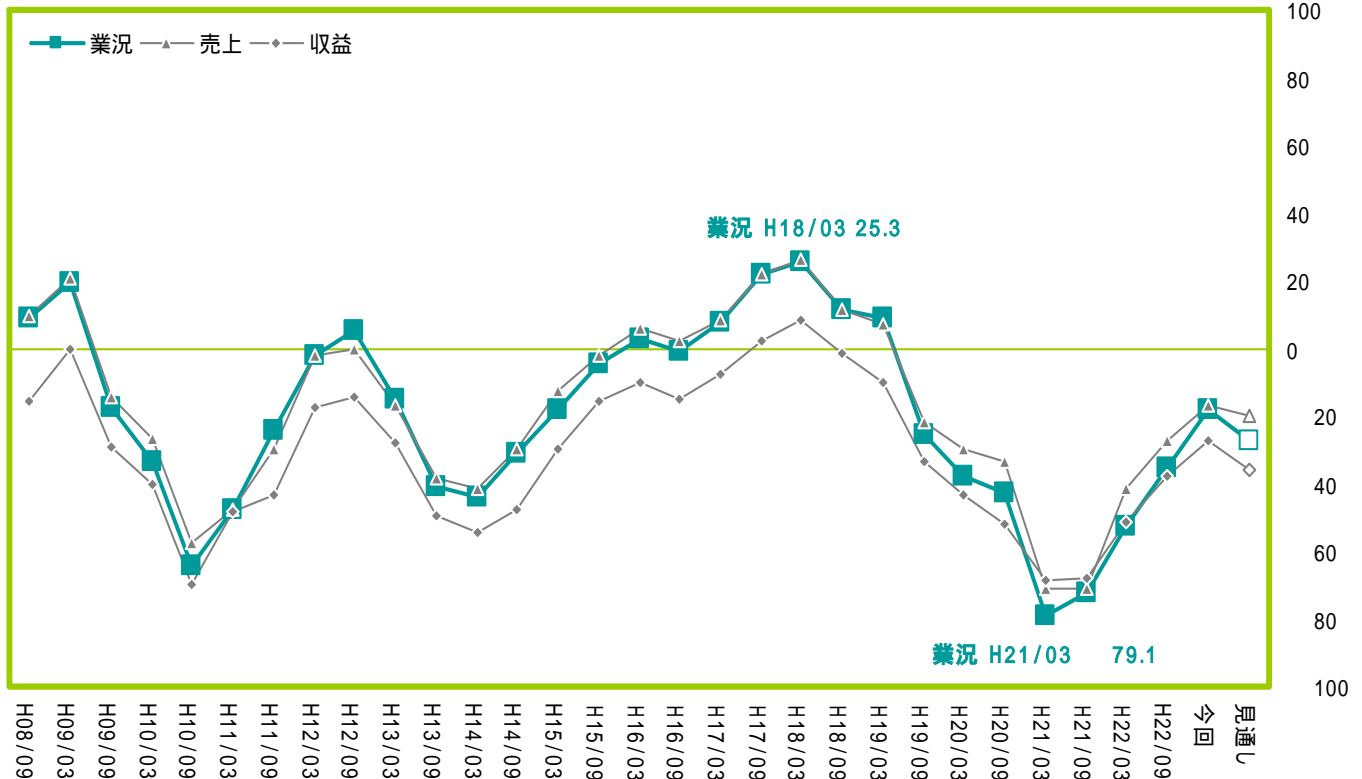
業況DIは 27.3と、9.3ポイントの悪化を見込んでいる。

<特別調査>

『中小企業の採用動向について』

東日本大震災の影響により、地震の発生前と後では回答状況が異なることが考えられますが、回収時期により集計を分ける等の措置はしておりません。  
なお、回収状況は概ね地震前が50%、地震後が50%程度です。

(全業種) 主要DIの推移



# 業況DIは全業種で改善。製造業は8半期ぶりにプラスの値となる。

## (業種別) 前回/今回/見通しDIの比較

	製造業			建設業			卸売業			小売業			その他		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
業況	2.0	6.0	4.2	64.6	36.0	32.0	47.6	22.0	55.5	72.7	28.0	60.0	56.4	47.0	42.5
売上	10.2	7.4	1.0	47.9	40.0	32.0	33.3	22.2	33.3	31.8	16.0	56.0	41.0	42.5	25.0
仕入価格	30.6	40.4	44.6	14.6	26.0	38.0	14.3	11.1	27.7	18.2	36.0	40.0	20.6	5.3	13.1
販売価格	37.8	26.9	16.1	62.5	40.0	36.0	14.3	16.7	16.6	40.9	4.2	4.1	33.3	23.7	24.3
収益	22.4	5.3	21.2	60.4	48.0	48.0	33.3	50.0	66.6	31.8	28.0	56.0	53.8	43.6	30.7
在庫	2.1	8.3	3.5				14.3	11.1	11.1	42.9	20.8	4.1	12.5	7.1	7.1
受注残高	2.1	11.2	5.6	37.5	28.6	28.5									
資金繰り	15.3	11.7	22.3	22.9	24.0	14.0	14.3	5.6	0.0	50.0	32.0	40.0	33.3	30.8	28.2
人手	4.1	6.5	6.4	18.8	12.0	16.0	14.3	5.6	5.5	4.5	4.0	8.0	0.0	2.6	10.2
設備状況	1.0	2.1	8.6	0.0	2.0	0.0	0.0	5.9	5.8	9.5	12.0	16.0	10.5	12.5	10.0

### 製造業

<実績>業況DIは6.0と、8.0ポイントの改善となった。売上DIは7.4と、17.6ポイント改善となった。収益DIは 5.3と17.1ポイント改善した。業況DI、売上DIは平成19年3月期以来8半期ぶりに、DI値がプラスとなった。  
 <見通し>業況DIは 4.2と、10.2ポイントの悪化を見込んでいる。売上DIは1.0と、6.4ポイント悪化を見込んでいるが、実績値同様8半期ぶりにDI値がプラスとなった。

### 建設業

<実績>業況DIは 36.0と、28.6ポイントの改善となった。売上DIは 40.0と、7.9ポイント改善となった。収益DIは 48.0と12.4ポイント改善した。販売価格DIは過去最低値となった前回( 62.5)から改善に転じ、40.0となった。  
 <見通し>業況DIは 32.0と、4.0ポイント改善を見込んでいる。受注残高DIは 28.5と、横ばいを見込んでいる。

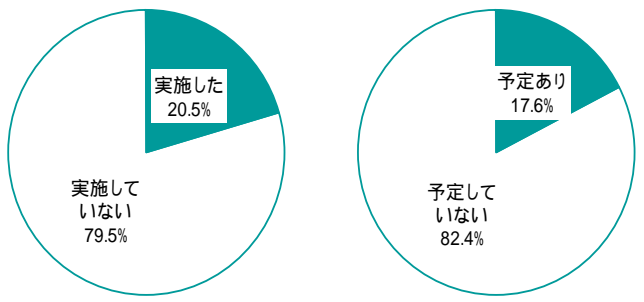
### 卸売業

<実績>業況DIは 22.0と、25.6ポイントの改善となった。売上DIは 22.2と、11.1ポイント改善となった。収益DIは 50.0と、16.7ポイント悪化した。  
 <見通し>業況DIは 55.5と、33.5ポイント悪化を見込んでいる。仕入価格DIは27.7と、16.6ポイントの上昇を見込んでいる。販売価格DIは 16.6と、横ばいを見込んでいる。

### 小売業

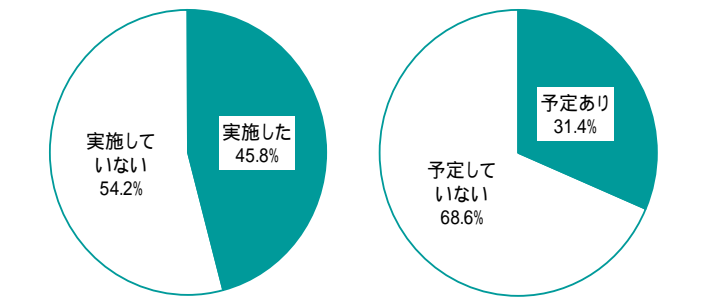
<実績>業況DIは 28.0と、44.7ポイントの改善となった。売上DIは 16.0と、15.8ポイント改善となった。収益DIは 28.0と3.8ポイント改善した。  
 <見通し>業況DIは 60.0と、32ポイント悪化を見込んでいる。売上DIは 56.0と、40.0ポイント悪化を見込んでいる。卸売業と同様に、仕入価格DIは上昇を、販売価格DIは横ばいを見込んでいる。

## (全業種) 設備投資の実施と予定



<実績>「設備投資を実施した」と回答した先の実施内容は、機械設備の更改が39.1%、事業用土地建物が17.3%、車輛が17.3%、機械設備の新增設が13.0%  
 <見通し>「設備投資の予定あり」と回答した先の予定内容は、機械設備の新增設が35.8%、機械設備の更改が33.3%、事業用土地建物が17.9%。

## (全業種) 借入の実施と予定



<実績>「借入を実施した」と回答した先の実施内容は、運転資金が71.8%、設備資金が20.8%、その他が7.7%。  
 <見通し>「借入の予定あり」と回答した先の予定内容は、運転資金が71.4%、設備資金が24.2%、その他が4.2%。

## 経営上の問題点について (各業種の上位3位まで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞減少	22.9%	17.2%	26.0%	27.4%	29.8%	26.6%
利幅の縮小	17.9%	17.2%	20.2%	17.6%	10.4%	21.1%
同業者間の競争激化	11.7%		18.8%	13.7%	17.9%	10.0%
販売先からの値下げ要請		15.0%				
材料価格の上昇		11.6%				

## 当面の重点施策について (各業種の上位3位まで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
経費を削減する	25.0%	24.5%	26.4%	26.5%	22.5%	25.4%
販路を広げる	24.5%	21.7%	25.7%	30.6%	21.1%	29.0%
情報力を強化する	11.3%		15.4%	16.3%		15.4%
技術力を強化する		14.0%				
不採算部門を整理縮小する					7.0%	
新しい事業を始める					7.0%	

## 調査員のコメントより

### 製造業

ベテラン技能者の退職問題は、新卒採用による早期の技能伝承と機械化対応にてカバーするようにしている。(楽器)

販路拡大に注力。受注面では若干回復の兆しあり。技術の承継が課題。(金型)

前回調査より好転してきている。社員は若い世代が多いため、継続雇用等は直面する問題ではない。(建具・木製家具)

雇用は現状維持。機械化促進で対応したほうが良い、との考え。(印刷)

業界再編も済み、安定した受注を確保している。専門知識が多く必要とされるため教育・採用が難しい。(繊維)

受注量はリーマンショック前に戻ったが、単価の引き下げで売上額・収益の回復は遅れている。(機械部品加工)

### 建設業

新築件数の減少、ハウスメーカーとの競合で業況は厳しい。対抗策としてコンサルタント業務を始めた。(住宅建築)

太陽光発電の受注が思ったほど伸びず先行きは不透明。(電気工事)

国・県・市のリフォーム補助金制度を活用し、改修工事の受注に力を入れている。(住宅建築)

### 卸売業・小売業

受注面においては建築業者に格差が生じてきている。全般的には先行き見通しは緩やかな回復基調。(卸売)

大型ショッピングセンターに出店。売上高の増加は計画を上回っている。(小売)

エコカー減税等で新車販売は好調だったが、中古車販売が伸びず結果的には売上減少。(小売)

### その他

ドライバーの8割がケア輸送士の資格を保有、女性ドライバー6名等サービス向上に努めている。(タクシー)

燃料の値上がりが収益を大きく圧迫。採用は経験者が中心で、新卒者はほとんどいない。(運送)

車輛販売は利幅が少なく、アフターサービスに重点をおく。営業担当ははじめ社員全員で努力している。(自動車整備)

# 特別調査 『中小企業の採用動向について』

Q1 今後1,2年程度の正規社員・非正規社員の雇用について、どのように対応する方針ですか？

正規社員を …… 増やす(20.6%)、変えない(67.7%)、減らす(11.7%)  
 非正規社員を …… 増やす(11.7%)、変えない(42.2%)、減らす(7.3%)、従来からいない(38.8%)

Q2 ここ3年の間(2008年4月以降)に新卒の社員を採用しましたか？

新卒の社員を …… 採用した(23.0%)、採用しなかった(77.0%)

<採用した理由>

定例的な人材の採用(欠員補充を含む) (65.4%)  
 業務の拡大・多様化 (17.3%)  
 新卒のほうが中途より賃金が安い (5.8%)  
 知人・取引先等からの依頼 (7.7%)  
 その他 (3.8%)

<採用しなかった理由>

優秀な人材がいなかった (2.9%)  
 採用募集への応募がなかった (2.3%)  
 採用条件が折り合わなかった (14.9%)  
 もともと採用する気がなかった (75.3%)  
 その他 (4.6%)

Q3 ここ3年の間(2008年4月以降)に中途の社員を採用しましたか？

中途の社員を …… 採用した(53.1%)、採用しなかった(46.9%)

<採用した理由>

即戦力の獲得 (61.3%)  
 業務の拡大・多様化 (13.5%)  
 新卒より採用が容易 (10.1%)  
 知人・取引先等からの依頼 (9.2%)  
 その他 (5.9%)

<採用しなかった理由>

優秀な人材がいなかった (3.8%)  
 採用募集への応募がなかった (1.9%)  
 採用条件が折り合わなかった (2.9%)  
 もともと採用する気がなかった (89.5%)  
 その他 (1.9%)

Q4 定年を迎えた従業員を再雇用(雇用形態は問わず)する意向がありますか？

<高齢者の再雇用>

積極的に再雇用していく (22.2%)  
 本人の能力による (50.7%)  
 本人の人柄による (5.0%)  
 再雇用することは考えていない (22.1%)

<高齢者の新規採用>

積極的に再雇用していく (3.8%)  
 本人の能力による (28.1%)  
 本人の人柄による (3.8%)  
 採用することは考えていない (64.3%)

Q5 外国人従業員を雇用(雇用形態は問わず)していますか？

外国人従業員を …… 雇用している(9.2%)、雇用していない(90.8%)

<雇用している理由>

勤勉さや仕事への意欲 (33.3%)  
 外国進出の足がかり (14.3%)  
 外国人顧客の増加への対応 (9.5%)  
 日本人には無い発想 (0.0%)

能力 (4.8%)  
 賃金面 (23.8%)  
 日本人を採用できなかったため (4.8%)  
 その他 (9.5%)

## 調査要領

調査時点 平成23年 3月  
 調査方法 当金庫職員による面接聴取りによる感觸調査  
 対象期間 実績:平成22年10月～平成23年 3月  
 予想:平成23年 4月～平成23年 9月  
 調査地域 当金庫営業地域  
 (長岡市、南魚沼市、見附市、小千谷市)  
 調査先 227先  
 回答先 227先(回収率:100%)  
 分析方法 D.I.(Diffusion Index)  
 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの

長岡しんきん

## 法人インターネットバンキング サービス

- メリット1** 専用ソフト・専用端末が不要！  
インターネットに接続できるPCがあればOK。
- メリット2** 経理事務の少量化・スピードアップ！  
オフィスにいながら残高照会・振込・振替が行えます。
- メリット3** 低コスト！  
振込手数料が窓口より105円～420円おトクです！

< 詳しくは窓口係・営業担当にお問い合わせください。 >